課題 04｜お友だち関係・集団行動・ルール

「お友だちと遊べない・順番が待てない・集団が苦手」

いきなり大人数の輪に入れるのではなく、「1日定員10名の小集団」で安心とルールを段階的に育てます

お子さまにこんな「困りごと・サイン」はありませんか？

- お友だちの玩具を黙って取ってしまったり、貸し借りでトラブルになる
- 保育園・幼稚園の一斉指示や集団活動の輪に入れず、一人で遊んでいる
- 順番待ちやゲームの勝ち負けで泣いたり怒ったりしてしまう

発達科学からの安心メッセージ

「大人との1対1の安心関係」が、お友だち関係のスタートラインです

幼児期の社会性は「①大人と1対1で楽しくやり取りできる → ②お友だちの隣で同じ遊びをする（並行遊び） → ③順番やルールのある小集団遊び」の順で育ちます。大人数で緊張するお子さまには、少人数の温かい練習環境が不可欠です。

お子さまの社会性ステップに合わせた「2つの関わり分岐」 ＆ 解決4ステップ・フロー図

一人ひとりのペースで進めます

A：お友だちに関心はあるが、言葉より先に手が出てしまう時
指導員がすぐ横に入り、手が出る前に「『かして』って言ってみようか」「タイマーが鳴ったら交代ね」と具体的な言葉のモデルと視覚ルールを仲介します。

B：集団に入ると緊張して固まる・一人で遊ぶのが好きな時
無理に輪へ入れず、まずは安心できる指導員と1対1で楽しく遊び、その隣に少しずつお友だちが並ぶ「並行遊び」から心地よい距離感を育てていきます。

どちらのタイプのお子さまも、以下の「4ステップ療育サイクル」で無理なく力を伸ばします

STEP 1｜つまずきの背景
大人数での刺激過多緊張
20～30人の集団では声や刺激が多すぎて、どう振る舞えばいいか分からず混乱してしまいます。

STEP 2｜安心の土台づくり
定員10名×指導員の信頼
少人数の家庭的な空間で、まずはスタッフと「気持ちを受け止めてもらえる安心感」を築きます。

STEP 3｜小集団での実践
揃っておやつと順番遊び
「みんなでいただきます」「中庭での遊具交代」など、2～4人の小集団で順番待ちを経験します。

STEP 4｜育つ力・将来の姿
図書館外出と園・小学校
公共マナーや「かして・どうぞ」が自然に身につき、園や小学校の集団生活へ自信をもって移行できます。



実践① みんなで揃っておやつ・小集団SST

毎日の「いただきます」とおやつ時間で、待つ力と共感を楽しく経験

1日定員10名の落ち着いた環境で、お友だちと一緒に椅子に座り、配膳を待つ・挨拶をする・「おいしいね」と顔を見合わせる毎日の生活ルーティンから社会性の基礎を育てます。



実践② 中央図書館へのお出かけ＆安全な中庭あそび

教室の中だけでなく、地域の図書館や囲まれた中庭で生きた社会性練習

先生と手をつないで歩く、図書館で静かに好きな絵本を選ぶ、建物に囲まれた安全な中庭でお友だちと順番に遊ぶなど、実社会につながるステップアップ体験を行っています。

★ おうち・園で今日からできる「1分関わりヒント」

おもちゃの貸し借りで「貸してあげなさい！」と叱る代わりに、スマホのタイマーを1分セットして「ピピッて鳴ったら〇〇ちゃんの番ね」と『時計にルール役を任せる』と、お子さまも納得して交代しやすくなります。

◆ ご家庭・保育園・幼稚園と連携する「2つの通い方」

①【午前からの1日ゆったりコース】10:00～16:00（昼食・昼寝対応）
②【保育園・幼稚園への送迎並行コース】園への送迎対応（送迎時間 9:30～16:30／片道30分程度）。相談支援専門員様とも密に連携します。

ご見学・ご相談（月～金 10:00～16:00）
058-372-6123
まだ受給者証が手元になくてもご相談可

所在地 〒504-0966 岐阜県各務原市那加本町36番地 マナベビル3F（JR那加駅 徒歩2分・名鉄新那加駅 徒歩5分）
対象 2歳～未就学児（小学校入学前） ｜ 送迎・昼食 提供可能 ｜ 対応言語 日本語・英語・ポルトガル語・スペイン語
メール contact@ibirite.info ｜ Web https://www.ibirite.info/児童発達支援/

LINEでお問合せ